

九州豪雨の被災地を支援 小中連携で募金活動

葛飾区立白鳥小学校、宝木塚小学校の代表委員の児童と、葛飾区立大道中学校の生徒会に所属する生徒たち計25名が、京成電鉄お花茶屋駅前で九州豪雨の被災地に向けた募金活動を行いました。

九州豪雨に関する報道の中で、周囲が冠水し、児童たち約50名が校内で一晩を明かすことになったという福岡県朝倉市立松末小学校のニュースに触れ、「自分たちと同じ年代の子どもたちも被害に遭っている。被災地の人たちのために、何かできることはないか」と考え、白鳥小学校の子どもたちが校長や教員に相談したことがきっかけとなりました。



そこで、区が実施する「小中連携教育」で、同じ連携グループに属する宝木塚小学校、大道中学校に呼びかけ、募金活動をするようになりました。

募金活動は、7月18日(火)から19日(水)の2日間で行いました。子どもたちは暑さに負けず、「九州豪雨災害の被災地救済にご協力をお願いします!」「僕たちと同じ小中学生も被害を受けています」などと、大きな声で通り過ぎる人たちに協力を呼びかけました。

この2日間の募金活動で、約20万円が集まりました。集まった義援金は、葛飾区教育委員会を通じて朝倉市教育委員会へ寄付し、教材教具購入資金の一部に役立ててもらおうとしています。

指導室 ☎(5654)8471

ありがとう! 新宿図書館センター

平成21年10月より新宿図書館センターの名前でみなさまにご利用いただいた図書館は、この度、葛飾赤十字産院の移転建替に伴い、当面の間休館することになりました。

遡ること50年前の昭和42年、教育センターの中に併設された葛飾図書館時代から今日に至るまで、たくさんの方々とともに歩んでまいりました。休館に際し、いくつかの特別イベントを実施したところ、多くの方にご参加いただきました。その内のひとつ、「新宿図書館センターへメッセージを書こう!」では、温かいお言葉、また惜しんでいただくお声を数多くいただきました。9月いっぱいまで館



▲葛飾区教育センター外観

◀葛飾図書館・新宿図書館センターへのメッセージ



▶9月16日
さいごのおはなし会



内に掲示しましたが、みなさまの思いが伝わり、図書館スタッフとしても、とても感慨深いものがありました。また、9月16日には、葛飾図書館時代から子どもたちに親しまれた一階のおはなし室で「さいごのおはなし会」を行いました。

最後ということで、児童向け行事でいつもお世話になっていたボランティアのみなさまが大勢集まってくださり、当日はたくさんのおはなしを披露していただきました。参加してくださったボランティアの方々をはじめ、お話を聞きに来てくださった児童、保護者のみなさまに、この場を借りて改めてお礼を申し上げます。この先も図書館が子どもと本をつなぐ場所となれば幸いです。

(新宿図書館センタースタッフ一同)
中央図書館 ☎(36007)9201